



今年も奴らがやってくる。北の方からやってくる。アムール川からやって来る。そう、オホーツク海の冬の風物詩、「流氷」のシーズンが訪れます。

そんな流氷と触れ合えるレジャーがあるという。それは・・・「流氷ウォーキング」。冬の知床半島には流氷が押し寄せ、海を覆い尽くし、白い大地がお目見えする。その上を歩いて楽しむといった冬限定、知床限定のプレミアムなレジャーである。流氷と直に触れ合えるダイナミズムがたまらない。そんな流氷ウォーキングを体験したので、ご紹介したいと思います。



我ら体験隊!

どんな格好?

まず誰もが気になるのは、真冬の海を歩いて相当寒いのではないかと? どんな格好で行けば良いのか? という事ではないでしょうか。

流氷ウォーキングを体験させてもらえるところのほとんどは、ドライスーツの貸し出しを行っており、これを着用します。ドライスーツは足先のブーツから首もとまで一体となっていて、完全防水&保温性が高いため意外と寒くはないのですよ。動きやすい格好をしてあげればオッケーです。



ドライスーツ



流氷の感触を味わえます

流氷を体感する

流氷に実際触ったりする事が出来ますので、流氷の硬さや感触などを体感できます。氷が厚い場所と薄い場所では歩く感触が違ったりと、いろいろ感じる事ができるでしょう。

また、体感した日は天気が良く、太陽が顔を覗かせていました。太陽の光を浴びた流氷はとてもきれいなブルー、まさしくオホーツクブルーでなんととも幻想的でした。そんな流氷の美しさにとりしちゃうかも。

海の上だからその景色を堪能

流氷期の知床は大海原一面が流氷で覆い尽くされている。見渡す限りの白い大地である。安定して流氷の上を歩いていると、時折海の上だという事を忘れそうになるが、たまに見える海面が海を歩いている事を実感させてくれる。ふと周りを見渡せば、普段陸上から見えるものとは少し違った景色が広がっている。海から見る知床連山や知床半島の様子などなかなかお目にかかれないうちシチュエーションがここにはあります。



流氷の上にオジロワシ

オジロワシなどの野生動物にも出会えるかもしれません。これも流氷ウォーキングの魅力の一つでしょう。



亀岩裏側の巨大なつらら

また、海を覗くとあまりにも水の透明度が高いので、きっと感動すると思いますよ。タイミングが良ければ、人気のクリオネを間近で見ることが出来るそうなので、探してみたいかがでしょうか。

こういった海に浮かぶ事ができるのも、流氷ウォーキングの醍醐味で訪れる方に好評のようです。是非とも今年は流氷と触れ合おう!!



プカプカ浮きます

今回、流氷ウォーキング体験でお世話になったのは、「いるかホテル」さん。ウトロの入り口にあり、いるかのイラストがある建物が目印。オーナー山本氏はまさに知床の海を知り尽くしたお方。そんな知識豊富な山本氏にガイドもしていただきました。



いるかホテル

電話：0152-24-2888
斜里郡斜里町ウトロ西5番地
URL：http://iruka-hotel.com

知床には他にも流氷ウォーキング体験を行っているところがあるのでご紹介。

NPO法人 知床ナチュラリスト協会「SHINRA」

電話：0152-22-5522 URL：http://www.shinra.or.jp



四季を通じて知床自然についてガイドされているそうです。料金等は各自お問い合わせ願います。



流氷に埋め尽くされたウトロの海